

会 議 録

1 会議名

令和元年度 3 回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 令和元年度 地域活動支援事業について（公開）

①プレゼンテーション

②個別質問への回答（再質問含む）

3 開催日時

令和元年 5 月 25 日（土）午後 1 時から午後 4 時 40 分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第 2 会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：池杉清子、今井 孝、大竹明德（副会長）、金子隆一、佐藤美奈子、
 渋木 俊（副会長）、田沢 浩、谷 健一、野澤武憲、藤田晴子、星野 剛、
 松田光代、吉田幸造（会長）、吉田 実、鷺澤和省（欠席 5 人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【吉田会長】

- ・ 会議録の確認：松田委員に依頼
 次第 2 議題「(1) 令和元年度 地域活動支援事業について」の「①プレゼンテー

ション」と「②個別質問への回答」に入る。進行は事務局に一任する。

【藤井係長】

・進め方の説明

再質問アンカー：大竹副会長、今井委員

【春-15提案者】

- ・「春-15 町内レクリエーション活動支援事業」についてプレゼンテーション
- ・個別質問への回答

(質問1) 町内会費で賄う事での検討はされたか。その上で提案された特段の理由があれば聞きたい。

(回答) 当町内は“安全安心まちづくり”を謳いながらも災害時の非常用品の備蓄が進んでいない。更に消防小屋の土地の取得を検討している。災害備蓄用品や土地を購入することとなった場合、何千万もの予算がかかると予測している。木田町内は約4,000人いるため、災害備蓄用品は最低でも500人分用意したいと考えている。これらにお金がかかってしまうため、余裕がない状況である。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 希望している備品のうち、優先順位の5位まではぜひとも支援してほしい。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

— 用紙回収 —

【今井委員】

消防施設用地取得の進行状況を聞きたい。

【春-15提案者】

現在、よい土地を探している。出来る事であれば町内会館付近を希望しているが、適地があっても売ってもらえずなかなか難しい状況である。

【藤井係長】

春-15を終了する。

— 提案者退席 —

【春-1提案者】

- ・「春-1 春日野いきいきサロン事業」についてプレゼンテーション

【藤井係長】

個別質問の回答をお願いします。

【春-1提案者】

- ・個別質問への回答

(質問1) 交通費が大半を占めているが、参加者に自己負担を求める考えはあるか。

(回答) 食事代については全額自己負担としている。参加者に交通費の自己負担を求めることは非常に厳しいと考えている。

(質問2) 参加者の構成（男女、年齢層）や参加人数の推移を聞きたい。

(回答) 男女の構成は半々である。年齢層は多い順に70歳代、80歳代、60歳代である。

春日野いきいきサロン発足から今年で10年目になり、最初は参加者が少なかったが年々増加している。現在は15人ほどが毎月の会合に参加している。

(質問3) 独居の方への具体的な働きかけは行っているか。

(回答) 会長を中心に、会員の近所に住む1人暮らしの方へ呼び掛けを行っている。また参加者の中には1人暮らしの人もいる。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 当サロンは春日野町内会の高齢者から、大変に好評を得ていると自負している。自己負担の増額については、参加者は年金暮らしのため非常に厳しいと考えている。事業の縮小や次年度への繰越は可能と考える。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーをお願いします。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

(再質問なし)

【藤井係長】

春-1を終了する。

— 提案者退席 —

順番を変更し、春-4のヒアリングを行う。

【春-4提案者】

- ・「春-4 土橋自衛消防部事業」についてプレゼンテーション

【藤井係長】

個別質問の回答をお願いします。

【春-4提案者】

- ・個別質問への回答

(質問1) 町内会からの支出も含め、町内会との連携はどのようにされているか。

(回答) 町内会から年間2万5,000円の支出があり、燃料代と慰労会の費用に充てている。

(質問2) 発電機一式の詳細な優先順位を聞きたい。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 質問2と共通質問をあわせて回答する。提案が採択されなくても、自分たちは今後もこれまで通り粛々と活動して行く。団体は40年間活動して来ており、今後もそれは変わらない。採択額に応じて、内容が付け加わるだけであり、活動を縮小するといったことはない。また発電機については高額で、昨年度土橋の祭りを盛り上げる会に多額の支援を受けたこともあり、優先順位を低くした。減額となった場合は発電機を次年度以降に繰り越すことも可能と考えている。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーをお願いします。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

(再質問なし)

【藤井係長】

春-4を終了する。

— 提案者退席 —

【春-2提案者】

- ・「春-2 高齢者の健康づくり活動（まちづくり）と地域交流事業」についてプレゼンテーション

【藤井係長】

個別質問の回答をお願いします。

【春-2提案者】

・個別質問への回答

(質問1) 会員から会費を徴収し、地域活動支援事業補助金を減らす考えはあるか。

(回答) 地域交流については参加費を徴収している。また会費も夫婦で1,500円を徴収している。

(質問2) 5ページと7ページの関連がわからないので説明を聞きたい。

(回答) 全てを活動費として計上することも可能であるが、ラミネート代・コピー代・ガムテープ代は全体の費用としているため、消耗品5,000円とした。

(質問3) 糸魚川への謝礼の基準は何か。

(回答) 観光営業も行っているヒスイ文化研究所の所長への謝礼として、参加者28人に350円の参加費を徴収したと想定し約1万円を見込んでいる。次に日本画画伯は作品を出雲大社や諏訪大社、今回訪問を予定している天津神社にも奉納している方である。その方からの直接の説明と講演を予定しており、謝礼の気持ちを込めて2万円を見込んでいる。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 既に1年間の計画を立てており、町内会からの助成や会費、地域活動支援事業の補助金で成り立っている。事業の縮小や繰り越しはせず、計画通りに活動したい。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーに願います。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

— 用紙回収 —

【今井委員】

高齢者支え合い事業（健康サロン）との整合について聞きたい。

【春-2提案者】

春日野町内会には、いきいき春日野と春日野いきいきサロンの2つがある。いきいき春日野は健康体操を行っており、自分で動ける健康を心掛けている人が参加している。春日野いきいきサロンは居場所づくり・生きがいづくりを行っている。

【藤井係長】

春-2を終了する。

— 提案者退席 —

【春-3提案者】

- ・「春-3 F・C高志 サッカー&フットサル活動及び青少年健全育成事業」について
プレゼンテーション
- ・個別質問への回答

(質問1) 多くの大会に参加されているが、これまでの成績や結果の事例を聞きたい。

(回答) 年間50試合ほど参加している。昨年のリーグ戦では昨年度6年生だった子どもたちが、15チーム中前期4位、後期は5位の成績。10月の大会では6年生以下の試合でベスト8に進出。冬は室内で行うフットサルの大会で3年生以下のチームが優勝した。現在のF・C高志は決して強いチームではない。試合に出てもなかなか勝てない状況であるが、子どもたちは仲間と一緒にプレーする楽しさを感じながら、練習に励んでいる。

(質問2) 今回、どのような理由で地域活動支援事業に応募したか。

(回答) 昨年度と比較して、今年度の収入が大幅に減少した。昨年度の6年生が9人退団し、昨年度の時点で収入減が見込まれたため新入部員獲得に努めたが上手くいかず、大幅な収入減となった。昨年度中に部費の増額や遠征費の縮小も検討したが、一部の保護者より支援事業を利用し活動しているスポーツ団体があるとの情報があり、青少年の健全育成に当てはまると思い提案した。

(質問3) 保護者負担の実情を詳細に聞きたい。

(回答) 部費に加え、練習時や大会参加等の緊急時対応として負担がある。大会には多くの保護者が引率・同行するため十分に対応可能であるが、練習時は父親が熱心な家庭が多いこともあり、コーチ陣の他に3人から4人が付添っている。また仕事などで大会に連れていけない保護者がいた場合は、別の保護者が引率している。引率については当然リスクも伴うが、保護者間の信頼関係で成り立っている。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 退団した子どもたちと同じように、今いる子どもたちにも今まで通り楽しく活動できるよう用具等を充実させたいが、部費の増額等、自己負担の増額を最終的には考えて行かなければならないと思っている。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

(再質問なし)

【藤井係長】

春-3を終了する。

【春-6提案者】

- ・「春-6 上杉軍出陣式維持保存事業」についてプレゼンテーション
- ・個別質問への回答

(質問1) 甲冑の着用体験ができる企画はないか。

(回答) 現時点で予定はないが、希望があれば都度対応する。しかし簡単に着用できる物でもないため、人数は限られてしまう。ゴールデンウィークに春日山の銅像前で観光客の対応を行った際、こどもの日でもあったため兜の写真を撮る家族や、珍しがって興味を示す父親もいた。希望があれば春日山駅前で行われるイベントで、5人から6人程度であれば対応したい。

(質問2) 合い見積もりを取っていない理由を聞きたい。

(回答) 見積もり先の業者は長い付き合いのため信頼関係がある。小さな店で甲冑を扱っている所もあるが、店頭には数点飾っている程度であり、ほとんどがカタログ販売である。しかも今回見積もりを依頼した業者から仕入れている事が多い。また見積もり業者は甲冑についての知識が豊富であり、自分たちが知らないことも把握しているためやり取りが楽であり、送料もサービスしてくれるという理由もある。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 他にも多くの活動をしていることもあり、籠手2着分は次年度以降に繰越でもよいと考えている。しかし甲冑以外で個人負担している物も多くある。草履は悪天候の場合は1回でだめになってしまうため、自分は草履を知り合いから作ってもらっている。また襦袢も短いものを着てしまうと、足がまるまる袴から見えてしまうため専用の物が必要である。数年前に3着購入し、今年度も3着の購入を希望している。予算に余裕があるときに少しずつ用具を揃えており、また個人負担も多いた

め自己負担の増額は難しいと考えている。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

(再質問なし)

【藤井係長】

春-6を終了する。

— 提案者退席 —

【春-8提案者】

- ・「春-8 春日山の交通安全のための交通安全推進活動並びに交差点関連路面標示修繕事業」についてプレゼンテーション
- ・個別質問への回答

(質問1) 交通事故が多数発生とあるが、プレゼンテーションにおいて具体的な事例や件数を聞きたい。

(回答) 平成31年1月1日から3月31日までの上越警察署管内での物損を含む交通事故の件数は、上越市内では1,074件、うち死亡事故2件、重体となった事故は3件であった。これを日割り計算すると1日に12件、2時間に1件発生していることになる。春日支部管内では130件、死亡事故はなかった。日割りで計算すると1日に1.5件発生していることになる。

(質問2) 地域協議会からの支援が無くなったあと、自己資金の確保などの対応は考えているか。

(回答) 協会の資金は春日地区の19町内会から会費をいただき、資金の範囲内で事業を展開している。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 事業予算については毎年4月に春日地区19町内会から選出された理事が参加する予算総会にて審議決定する。次号予算の範囲内で事業を実施することが前提となっているため、事業の縮小や次年度への繰越は可能である。採択された金額の範囲内で事業を実施する予定である。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

(再質問なし)

【藤井係長】

春-8を終了する。

— 提案者退席 —

【春-9提案者】

- ・「春-9 グラウンドゴルフで地域の活性化を図る事業」についてプレゼンテーション
- ・個別質問への回答

(質問1) 会費（個人負担）の金額を聞きたい。

(回答) 年会費は1人1,000円。現在会員は12人だが、15人程度にしたいと考えているため1万5,000円を想定している。また町内会で文化スポーツレクリエーション活動への助成制度があり、年間1万円の助成がある。

(質問2) グラウンドゴルフクラブといった個人で使用する用具等について、個人で準備出来ない理由を聞きたい。

(回答) 現在、町内会・同好会で所有している道具は全くない。必要に応じて総合体育館から借用し活動していた。個人で使用する物はボールとクラブである。カタログを見るとボールや1,000円から1,200円、クラブは4,800円から1万8,000円であり、安ければ1人約6,000円程度で用意することが出来る。しかし当同好会としては、町内の子どもから高齢者まで誰でもいつでも活動できる体制づくりを目指したいと考えている。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 一番困ったことは活動場所の確保である。当初は神社の境内や空き地、市のスポーツ広場を利用して活動していたが、上越教育大学の現在使用していないテニスコートを利用できることになり、年間で契約する結ぶことが出来た。今年の5月より利用を開始している。そのため事業の縮小や先送りは想定していない。もし減額

された場合は、自己負担を増額し、町内会からの支援の増額も求めたいと考えている。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

(再質問なし)

【藤井係長】

春-9を終了する。

— 提案者退席 —

【春-10提案者】

- ・「春-10 安全に安心して暮らせるまちづくり事業（防犯パトロール実施事業）」についてプレゼンテーション

【藤井係長】

個別質問の回答をお願いします。

【春-10提案者】

- ・個別質問への回答

(質問1) 防犯ベスト、パトロール帽子、誘導灯、拍子木、LEDライト等の備品について、現在の保管数や廃棄数などを聞きたい。

(回答) 廃棄分を含む購入数は防犯ベスト336着、パトロール帽子910個、誘導灯130本、これら3つは廃棄数なし。次に拍子木は43本、内廃棄10本、LEDライトは21個、うち廃棄はない。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 安心安全で明るく住みよいまちづくりを目指し、平成26年から春日山町3丁目を中心に開始した防犯パトロール事業である。昨今の子どもを取り巻く事件、高齢者を狙った特殊詐欺事件等の増加に伴い、事業の趣旨である防犯パトロールに加え、住民間のコミュニケーションを深める良さが理解され、徐々に周辺町内に拡大してきている。現在、春日山町1丁目から3丁目で実施しているが、一般世帯数で言うと約1,250戸、アパートは約2,500戸。これを1世帯4人で換算すると1万人規模の事業

となる。昨年は近隣、高志小学校区の大学前町内会でも同活動を開始したと聞いている。この流れは全市に拡大する可能性を秘めた事業であると考えている。支援事業の補助金が減額された場合、事業を縮小することは可能であると考えてはいるが、周辺町内会に拡大し大きく発展する可能性を秘めているため、長い目で見た支援を希望している。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

— 用紙回収 —

【今井委員】

のぼり旗と竿の保管数を聞きたい。

【春-10提案者】

のぼり旗は1,050本だが、各町内で年間約20本が風や日光による劣化で廃棄している。3町内合計では約60本という事になる。竿は390本、これも天候により破損・腐食するため、各町内で年間約10程度を廃棄している。

【藤井係長】

春-10を終了する。

— 提案者退席 —

【春-12提案者】

- ・「春-12 第5回 越後謙信きき酒マラソン事業」についてプレゼンテーション

【藤井係長】

個別質問の回答をお願いします。

【春-12提案者】

- ・個別質問への回答

(質問1) 過去4回の事業費はどこから調達したのか聞きたい。

(回答) 前年度実績では、1人あたりの参加費5,000円で計235万1,000円、協賛金23万円、クラウドファンディング72万9,000円、また商工会議所青年部から不足分を特別事業費として調整し22万4,000円となっている。特別事業費については、通常商工会議所青年部は4委員会では予算が割り当てられているが、きき酒マラソンは、各委員

会の予算を減らして財源を充当している状況である。

(質問2) 大きな組織である上越商工会議所の主催であり、その中で盛大に行うべきと考えるが、支援事業の活用理由を聞きたい。

(回答) きき酒マラソン実施により、春日地域の認知度の向上・観光客の誘致を目的としている。また地域住民が観光客と交流することで、自分たちが暮らす地域の魅力や誇りを再認識する機会となればと考えている。会社の金儲けや自己満足で活動している訳ではなく、春日山地域の振興を想い活動している。そのため商工会議所青年部だけの事業では意味がなく、出来るだけ多くの地域住民に参加してほしいと考えている。また地域住民から、自分たちの地域のイベントであるとの理解を深めてほしいと思っているが、まだまだ地域への浸透が足りない。参加者は地域の名跡やおもてなしの心を非常に感じて帰って行く。地域住民はお願いしなくとも一生懸命に温かくボランティアに参加し、自ら給水所を出してくれる住民もいる。また沿道で応援してくれる住民もいる。これらに参加者は感動を覚え帰って行く。また競技中、参加者がリアルタイムでSNSに投稿できるのだが、地域住民に感謝する言葉が多いため、さらに増やしたいと思っている。

(質問3) 第4回ではクラウドファンディングを実施して集金しているが、今回はクラウドファンディングの実施予定はあるか。

(回答) 昨年度、初めてクラウドファンディングを実施したが、連続して実施すると効果が薄れてしまうため、連続して活用するものではない。また手数料が17パーセントかかってしまう。クラウドファンディング実施の目的としては、資金調達よりも自分たちの活動周知の意味合いが強い。そのため資金調達としては、本当にプラスになっているのか厳しい所がある。これらを踏まえ、今回は支援事業の活用を考えた。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 減額となった場合は、商工会議所青年部の特別調整金で補てんしたいと考えている。満額で採択された場合、(参加者の)負担は約3万円で可能であると考えている。しかし減額となった際は、企業協賛金等を活用し、何とか調整したい。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

(再質問なし)

【藤井係長】

春-12を終了する。

— 提案者退席 —

(休憩20分)

【藤井係長】

ヒアリングを再開する。

【春-20提案者】

- ・「春-20 高齢者の生きがいづくりと地域交流事業」についてプレゼンテーション
- ・個別質問への回答

(質問1) 構成員90名は全員75歳以上の高齢者か。また名簿管理はどのようにしているか。

(回答) 平均82歳くらいであり、90歳以上の参加者もいる。大学のコンサートや歌声列車に参加するために、一生懸命体力作りに励んでいる参加者もいる。名簿管理について、大学のコンサートには140人程度が参加するため、これまでは名前のみの把握であったが、昨年度より氏名や住所を把握している。

(質問2) 交通費や参加謝礼等の一部自己負担額(受益者負担)についてどのように捉えているか聞きたい。

(回答) 交通費や謝礼金は支援事業を活用したいと考えている。食事代については全て自己負担としている。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 臨機応変に出来る範囲で実施していきたい。事業を縮小しても、参加者のためにも事業があることが大切であると思っている。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーに願う。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

— 用紙回収 —

【今井委員】

参加者の主な居住地域を聞きたい。

【春-20提案者】

木田1丁目・2丁目、春日山町3丁目等、春日区が8割である。他は直江津や高田の人もいる。

【今井委員】

交通費等の一部自己負担が負担できない理由を聞きたい。

【春-20提案者】

出来なくはないと思う。一部であれば自己負担は可能である。

【藤井係長】

春-20を終了する。

— 提案者退席 —

【藤井係長】

順番を変更し春-14のヒアリングを行う。

【春-14提案者】

- ・「春-14 春日山城跡環境整備（案内看板等の設置と柿崎屋敷）事業」についてプレゼンテーション
- ・個別質問への回答

（質問1）春日山城跡の史跡公園を求める活動の現在までの進行状況について聞きたい。

（回答）まず春日山城跡について理解を求めたい。昭和10年に国の指定史跡となった。

歴史的には明治1年に政府管理となったが、明治7年に民有地に払下げとなった。大正3年に保存会が出来、民地を購入した。大正11年に財団法人春日山公園を設立し、春日山城跡保存整備として史跡保存会が出来た。平成21年3月に市と保存会が保存管理契約を結び、史跡保存会が所有していた土地を平成22年頃上越市に寄贈した。20年契約となっており、既に10年が経過しているが、北陸新幹線開通により釜蓋遺跡が発見され、予定していた予算が全てそちらに行ってしまったため、財政状況から整備計画が進んでいない。今の上越市の財政状況では史跡復元整備には手が回らないと思う。そのため国や県に訴えて行くほかないと考えている。

（質問2）城跡は春日区のみならず、全市及び県、国の財産である。そのため行政以外

からの資金を募る計画はあるか。（例えばクラウドファンディングなど）

（回答）国の指定史跡である上越市の所有財産に対して、自分たち民間の団体が資金集めをして復元整備作業をすることは考えにくい。会員は一市民であり現在の保存整備活動だけで精一杯であるため、資金集めをしてこれ以上の活動をするのは難しいと思っている。上越市をどの方向に向かせるのかが自分たちの仕事であると思っている。現状、春日山城跡保存整備促進保存会だけでもオーバーワーク気味である。今回採択されたあとの管理等もある。地域協議会から教育委員会に課題提起してほしい。

（共通質問）地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

（回答）減額となれば仕方がない。採択された金額の範囲内で活動して行くつもりである。次年度以降に繰越し、やれるところをやる。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

（再質問なし）

【藤井係長】

春-14を終了する。

— 提案者退席 —

【春-13提案者】

- ・「春-13 地域住民が心豊かで安全安心に暮らせる住みよいまちづくりを進める事業」についてプレゼンテーション
- ・個別質問への回答

（質問1）公園へのベンチの設置について、町内会で費用負担することは検討されたか。

（回答）当町内には第一公園・第二公園の2つの公園がある。第二公園の周囲は数年前まで畑であったが、現在は南側に住宅が立ち並んでいる。子どもたちが公園でボール遊び等を行うが、ネット等の処置をしていないため私有地にボール等が入ってしまうと無断で取りに行く状況となっており、早急に町内会で防球ネットを整備する必要がある。

また、当町内会では山車を数年前に購入し、10数名で担ぎ春日山神社から各家庭を回っている。担ぎ手が高齢となる中、1台で約200キロ程度あるため、担ぎ手の要望もあり軽量化の検討を早急に進めている。

昨年度、第一公園には市が遊具を設置したが、周辺に付き添いの人が使用できるベンチ等がないため早急に対応したい。第二公園についても同様であるため、何らかの形で設置したいと考え提案した。

町内会では各専門部に年間の活動金として助成金を補助している。今年度は活発に活動している団体へ助成金の増額をした経緯もある。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) ベンチの設置は地域住民からの要請であるため、今年度中に設置したい。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

— 用紙回収 —

【今井委員】

ベンチ設置費用は町内会の助成金を充てることも検討していると考えてよいか。

【春-13提案者】

助成金の支給団体については、11月下旬頃から三役会の理事会にて取りまとめ、1月の総会で予算を決定する。年末の準備の段階で、総会で提案する議題を決定している。支給団体としては、子供会・寿会・野球部・食推の会・いきいき春日野・いきいきサロンである。

【藤井係長】

春-13を終了する。

— 提案者退席 —

【春-16提案者】

- ・「春-16 高志地区・安全・安心見守りパトロール事業」についてプレゼンテーション
- ・個別質問への回答

(質問1) 通学路パトロール等は、具体的に誰がいつどの様に行うのか計画について聞きたい。

(回答) 藤新田町内会のボランティア登録者13人がほぼ毎日、大学前町内会のボランティア登録者8人が毎週月曜日、大学南町内会では2人で月2回の当番制でパトロールを継続的に実施している。その他、新光町・木田・木田新田・藤巻の各町内会で下校時に毎日見守り活動を行っている。また各町内会より、防犯パトロールの世話人を選出してもらい、活動世話人連絡会を開催している。各世話人を中心に、無理のない程度で活動が広がるよう取り組んでいる。町内によっては、町内の役員会にてこの活動が話題に上がっている町内もあると聞いている。

(質問2) PTA安全安心パトロール活動と小学校後援会の安全安心見守りパトロール事業は、別組織で収支も別会計か聞きたい。

(回答) PTAの安全安心パトロール活動に触発され自発的に開始した事業であるが、PTAと後援会は別組織であるため当然会計や活動等は別である。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 予算は1月の委員会にて決定しており、使用できる予算は1,000円未満の予備費のみである。従って増額できる余裕は全くない。また事業の縮小や繰越については、昨年度より開始した事業であり、活動が勢いを増すには今年がポイントと考えているため、減額や縮小は避けたい。

最後に1点お願いである。事業計画にあるマグネットステッカーについて、当初は目立つ方がよいと考えA3サイズを考えていた。しかし検討の結果、もう少し小さなサイズの物の方が様々な場所に貼れるようA4サイズとすることを考えている。サイズ変更した場合の枚数を業者に確認したところ予定していた100枚と同額で、A4サイズ170枚から180枚になる予定である。また高志みまもり隊のロゴ入れを検討しており、変更したいと考えている。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

(再質問なし)

【藤井係長】

春-16を終了する。

— 提案者退席 —

【春-17提案者】

- ・「春-17 大学前通りの環境整備と子供たちのための芸術文化活動事業」について
プレゼンテーション
- ・個別質問への回答

(質問1) 銘板が小さいため見えにくく、一方向からしか見ることができない。わかるように設置に工夫する考えはあるか。

(回答) 文字に色を付ける、サイズを大きなものに変更する等、見やすいものを設置したいと考えている。

(質問2) 設置後の景観の維持に環境整備活動は欠かせないが、清掃など活動計画があれば聞きたい。

(回答) 今のところ考えてはいない。作品の周辺には「〇〇をしてはいけない」といった注意事項を記載したような看板等は設置していない。住民が自発的に行ってくれることを重視している。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 減額の額にもよるが出来るところまで実施し、次年度以降に繰越したいと考えている。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

(再質問なし)

【藤井係長】

春-17を終了する。

— 提案者退席 —

(時間調整のため、休憩10分)

【藤井係長】

ヒアリングを再開する。

【春-18提案者】

- ・「春-18 中門前2丁目自主防災サポーターズ事業」についてプレゼンテーション
- ・個別質問への回答

(質問1) 平成30年度支援事業とのつながりを聞きたい。

(回答) 活動の1つに非常食の試食がある。昨年度は購入した炊飯袋を使用して、防災訓練にて炊き出しを行った。今年度は火も水も使用しない缶入りのパンを紹介・試食し、更に手軽に食べられる非常食があることを知ってほしいと考えている。

(質問2) 各町内会では防災用品の物置は市からの補助で設置しているが、検討されたか。また防災消耗品等は町内会で賄う事は検討されたか。

(回答) 物置は市の補助を受け昨年度購入済みである。団体の設立から間もなく物品が揃っていないため、支援事業を活用して備品を充実できればと考えている。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 事業の縮小や繰越は可能である。採択された補助の範囲内で優先順位の高い順から物品を揃えるだけでも十分に活動は出来ると考えている。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

(再質問なし)

【藤井係長】

春-18を終了する。

— 提案者退席 —

【春-19提案者】

- ・「春-19 春日野デュークス幼年野球活動事業」についてプレゼンテーション
- ・個別質問への回答

(質問1) 直近の収支決算について、会費を含めた収支、支出の費目、金額を聞きたい。

(回答) 前年度の決算報告では、収入の部が部費のみであり31万円、支出の部が各種大会参加費5万円、スタッフ関係費1万円、封筒・石灰・ロージン・ボールを磨く洗

剤・コピー代等の消耗品費9万円、練習場所の会場使用料で1万3,000円、スポーツ保険3万2,000円、6年生を送る会等の行事の補助費で5万円、試合時の熱中症予防の飲み物やアメ代で1万7,000円となっている。

(質問2) 幼年野球で投手用ネット、外野ネット、給水ローラー等について、保護者からの応援(負担)は検討されたか。応援(負担)が出来ない理由があれば聞きたい。

(回答) 先ほど説明した通り、部費のみの収入であり、各支出により部費はほとんど残らない。昨年度もヘルメット等を支援事業で購入したが、これらの大きな金額の用具を購入するために部費を値上げすることは難しいと考えている。共通で使用する用具等の更新費の補助をお願いしたい。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 減額となった場合は、既存の用具を引き続き使用していく。また遠征費についても減額の場合は相乗り等、その時々で負担してもらいながら対応していく以外ないと考えている。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

— 用紙回収 —

【今井委員】

収支残額3万3,000円は何に使用するか。

【春-19提案者】

今年度、春日小学校のグラウンドの年間予約を取ることが出来ず、上越市や黒田小学校の体育館を借用しなければならない事が事前に分かっていた。これらは減免の対象にならず使用料がかかってしまうため、敢えてこの金額を残した。

【今井委員】

部費はいくらか。

【春-19提案者】

1人当たり年間1万5,000円である。

【藤井係長】

春-19を終了する。

— 提案者退席 —

【春-21提案者】

- ・「春-21 ジュニアバレーボールの普及及び青少年健全育成事業」についてプレゼンテーション
- ・個別質問への回答

(質問1) 会費や自己負担の金額を聞きたい。

(回答) 保護者より1人、年間1万2,000円の負担がある。この負担金は、大会参加時に保護者の車を利用した際の謝礼として、距離に応じた金額を支払っている。また大会に応援に来た保護者の飲み物やお菓子代、バーベキュー大会の補助等に充てている。

(質問2) 交通費について内訳を聞きたい。また、自己負担額はあるか。

(回答) 大会や遠征時の往復のガソリン代や高速代、遠方の場合はマイクロバスを使用している。自己負担については、保護者への車代として年会費から支出している。

(質問3) 参加費及び交通費が前年と比べて増額した理由を聞きたい。

(回答) 昨年度の終わり頃から男子チームのレベルが上がってきた。県大会に出られるレベルであり、北信越大会にも参加できると期待している。そのため県外からのオファーも増え、大会参加費や交通費の増額を希望した。また昨年度はクラブ員が男女合わせて27人いたが、6年生が8人抜け今年度は19人に減ったため、会費が減ったことが要因となっている。

(質問4) 費用を確認するために、監督と選手の構成人数を聞きたい。

(回答) クラブ員数は男女合わせて今年度は19人となっている。指導者は男女各3人。

(質問5) どのような地域活性化を考えているか。

(回答) 現在、小学校の体育の授業でバレーボールが必修競技となっている。本物のバレーボールのネットではなく、バトミントンのネットを使用し、柔らかいボールを使用して授業を行っていると聞いている。授業を通して、子どもたちが少しずつバレーボールに興味を持ってきていると思っており、活動を続けることで、ジュニア・中学・高校・社会人と続けてほしいとの思いもある。活動を通して地域を活性化していきたいと思っている。最近は障害者が競技出来るシッティングバレーも出てきており、様々な人が楽しめる活動もしていきたい。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 減額により、保護者の負担は増えるが事業の縮小は考えられない。県・上越の連盟主催の大会に参加しないとの判断は難しい。そのため出来る事であれば支援してほしい。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

— 用紙回収 —

【今井委員】

チャレンジ会とはどのようなものか具体的に聞きたい。

【春-21提案者】

クラブ員を集めるために年1回実施している体験会である。今年度は男子11人、女子8人であるが、来年度のクラブ員については男子7人、女子はギリギリの6人を確保できない状況になることが見込まれる。そのため、春日区近隣の小学校にも案内を出し体験会への参加を求め、クラブ員を確保していきたい。収支にある5,000円は主にチラシの作成費用である。

【今井委員】

交通費の謝礼の総額はいくらか。

【春-21提案者】

距離によるが、1台あたり500円から1,000円程度である。1大会では、参加する人数や距離にもよるが女子は3台から4台、男子は4台から5台使用するため台数分の謝礼という事になる。

【藤井係長】

春-21を終了する。

— 提案者退席 —

【春-22提案者】

・「春-22 高志小学校区 少年野球育成事業」についてプレゼンテーション

【藤井係長】

個別質問の回答をお願いします。

【春-22提案者】

・個別質問への回答

(質問1) 会費を設けていない理由を聞きたい。

(回答) 3年前までは年会費6,000円、チームTシャツ約2,000円を個人負担としていた。

しかし保護者より負担が多いとの声があり、現在会費をなくしている。現在は参加した大会終了後に実費分を人数割りで精算している。

(質問2) 春日中学校野球部や高志ビクトリーズなど他チームとの関連を聞きたい。

(回答) 近年の授業形態に伴い、中学校の部活動が週末に実施されない日がある。そのため日曜の午後に練習を実施している。高志ビクトリーズの卒団生が主体であり、小学校区外から希望があれば参加も受け付けている。

(質問3) 帽子、ユニフォームが25着必要な理由を聞きたい。

(回答) 現在の団員数は13人であるが、下級生等の今後入団が考えられる人数を踏まえた数である。指導者は大会時3人の登録が必要であるため、指導者3人分も含めている。

(質問4) 中学校の学校別人数を聞きたい。

(回答) 春日中学校生徒12人、高志小学校区の附属中学校生徒1人の計13人で活動している。来年度入部すると予想できる生徒もおり、今後更に人数は増えると考えている。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 減額となった場合は、事業の縮小や繰越について保護者と検討していきたい。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

(再質問なし)

【藤井係長】

春-22を終了する。

— 提案者退席 —

【春-23提案者】

- ・「春-23 春日区 幼年野球育成事業」についてプレゼンテーション
- ・個別質問への回答

(質問1) 帽子、ユニフォームが30着必要な理由を聞きたい。

(回答) 現在選手は19人であるが、体験入部を実施しており今後も増える可能性は十分にある。また現有のサイズはバラバラであり、低学年・指導者含め各サイズ複数枚揃えたい。毎年受け継いで使用していく物であるため、ある程度の枚数がないと対応できない。

(質問2) なぜティーバッティングネットが2張必要か。

(回答) 現在バッティング練習を2・3か所に分かれて効率よく行っている。一昨年、ホワイトウェーブで使用しなくなったバッティングマシンを安価で購入した。購入に当たっては当時の部員の保護者が個人的に後援会を作り、20万円程度の資金を集めてくれた。数か所に分かれてバッティングマシンを使用した練習を行う場合、安全面を考えてもネットは必ず必要である。

(質問3) これまで備品の更新が必要になった際には、どのように費用を負担してたか。

(回答) 先ほど後援会の支援もあったが、その団員も卒団してしまったため現在は消滅している。平成26年度に支援事業を活用し、ボール・ボールバック・得点板・ラインカー・キャッチャーのレガース・ヘルメット等を購入した。平成27年度には青年会議所の雪ん子基金から5万円の助成を受け、ユニフォームを購入したが、経年劣化があるため、支援事業の補助を受けて新たに購入したい。

(質問4) 地域の行事に参加する予定はあるか。

(回答) 夏と秋にある全市クリーン活動への参加を考えている。

(質問5) 地域の団体などからの援助はあるか。

(回答) 地域の団体や町内会からの支援はない。保護者の負担のみである。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 減額となった場合は、必要な物であるため次年度に繰り越したいと考えている。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

(再質問なし)

【藤井係長】

春-23を終了する。

— 提案者退席 —

【春-25提案者】

- ・「春-25 春日区のお土産開発と歴史伝承にぎわい創出事業」についてプレゼンテーション

【藤井係長】

個別質問の回答をお願いします。

【春-25提案者】

- ・個別質問への回答

(質問1) 地元の商店、商工会、地域協議会との連携はどのように考えているか。

(回答) これからは共創「共に創る」がキーワードとなる時代になると考えている。今年度採択され開発が進んだ後、次年度のメイドイン上越への認定を目指している。お土産品だけでなく、贈答品・記念品として販路を拡大し地域活性化を図っていききたい。9月にあるメイドイン上越の審査員による相談会にも声掛け頂いた。このチャンスを活かし、継続的・発展的な春日区から発信する土産品開発をしていきたい。そのためにも地元商店・商工会・地域協議会と連携を取って行きたい。

(質問2) 商品の完成より前に、パッケージ、ラベル、ホームページを制作する理由を聞きたい。サンプルがあれば提供願う。

(回答) 同時進行でも問題はないが、春日区を中心に上越市の歴史文化をより感じさせるようなデザインを時間をかけて考えていきたい。県立武道館もオープンし、今後は県外や海外からの観光客が来ることも考えられるため、インパクトのあるデザインにしたい。ホームページについては、最近はインターネット通販が非常に伸びており、毎年1兆数千億円ずつEC市場が拡大している。大型スーパーや百貨店が閉店する理由の1つとして、EC市場が拡大している事が言える。遅れを取らぬよう販路を拡大するため、効果的なホームページを制作する必要がある。

(共通質問) 地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担金の増額や事業の縮小、次年度への繰越は可能か。

(回答) 事業の縮小は考えられない。12月には県立武道館もオープンするため、今年は開発に取り組むにはよいタイミングであると考えている。県立武道館に春日区で開発した土産品を置けると考えている。

【藤井係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問がある場合は用紙に記入願う。

— 用紙回収 —

【今井委員】

商品は具体的にどのようなものか。

【春-25提案者】

そば・そうめん・うどん・パスタは土産品としてニーズがあると考えている。桜型パスタは上越のイメージと合致しているため観光客に喜んでもらえると思う。謙信公の業績を彷彿とさせるものが「青芋」であると考えている。外国の人も「青芋」は発音しやすいと思う。「青芋」イコール「上杉謙信公」であり、経済の起爆剤となったものである。ポリフェノールや食物繊維も多く含まれ、健康食品としても有効であると思う。これまでは繊維としては認知されていたが、食材としてはあまり認知されていなかったため、食材として全国に発信していきたい。

【今井委員】

団体名に「上越」とあるが、他の地区とのやり取りはあるか。

【春-25提案者】

団体の本拠が春日区にあり、春日区から発信していきたいと設立時から思っている。各団体や地域とも連携し、春日区並びに上越市の認知度を向上していきたい。これまでにコミュニケーションを取ってきた繋がりも有効に活用できると思っている。

【藤井係長】

春-25を終了する。

— 提案者退席 —

【吉田会長】

会議を再開する。

以上で次第2 議題「(1) 令和元年度 地域活動支援事業について」を全て終了した。

次に次第3 議題「その他」の「次回開催日の確認」に入る。事務局に説明を求める。

【藤井係長】

- ・ 次回の協議会：6月5日（水）午後6時30分から 市民プラザ 第4会議室
- ・ 内容：地域活動支援事業「意見交換会」

【吉田会長】

「(2) その他」で何かあるか。

(発言なし)

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。